

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

五月五日の夕方、イトーヨーカドーで買い物した時のこと。親切な運転士さんにタクシーまで荷物を運んでもらい車に乗ろうとした時、歩道を猛スピードで走る自転車が見え。若い女性にぶつかり、私もよけようとして転んでしまいました。今もまだ痛みが続いています。若い人の自転車のスピード運転、やめてくださいね(70歳以上の主婦より)

最近、あちこちからたくさん山の山菜をいただいています。炊きたてのご飯にワラビたたきは最高です(佐藤孝子 26歳・保戸野)

術後の親友がウォーキングしていると聞いて、私も始めました。十年ぶりに千秋公園へ足を運んでみたところ、ツツジが見頃で感動しました。肌で風を感じるって心地いい(横山タカ子 44歳・太平)

六月はPTA学級対抗バレーボール大会が盛んです。八人制バレーボール大会が盛んです。秋田県だけで行われているということですが、経験者でなくても、ご老人でもできるすごいスポーツです。全国に広まればいいのにね(古木 郁子 42歳・将軍野)

酒屋での子どもの会話。缶ビールを買ったA君にB君が「おまえんとこ、お父さんいないだろ」、A君「お母さんが飲むんだよ」、B君「そうかお母さん、お父さんの分も働いているもんな」。納得のいく会話でした(酒井政子 54歳・仁井田)

私がかつどの頃は、自家製の梅漬けや梅干しを作っていたのですが、本やレシビをみてもなかなか上手にできないものです。材料費込みの講座があればと思います(保坂理子 35歳・金足)

ごみ集積所に資源化物ともやせないごみを混ぜて出す人がいて、毎週分別するのが大変です。ごみ袋に名前を書いて出したらどうでしょうね?(中田ヨシ子 65歳・土崎港)

ウチの近くの公園は、雨がりの水はげが悪く、遊具も危険な状態…。大きな公園だ

地域のお話 おしえて!!

新城川にヤマメの稚魚を放流 自然の恵みを受けて大きくなってね!

6月8日、上新城地区をあげて、新城川に7[㊦]ほどのヤマメとイワナの稚魚5,000尾を放流しました。地区の豊かな自然に意識を向けてもらおうと上新城地区市民協議会や各町内会が協力しているものです。昭和53年に始まり、今年で10回目になりました。放流には毎年、上新城小学校の児童もお手伝い。自然学習の一環として取り入れ、命の大切さや地域を知る

体験としています。「以前、生活排水や農薬で新城川がひどく汚れた時代がありました。ヤマメはきれいな川でないと生きられませんから、水質の監視役です。自然の恩恵を受けているからこそ、地域の自然は地域で守っていききたい」と地区市民協議会長の石井三男さん。いつまでもヤマメやイワナが元気に泳ぐ川であってほしいですね。

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。
☎(866)2034 FAX(866)2287



稚魚も上新城小のみんなも大きくなあれ

